

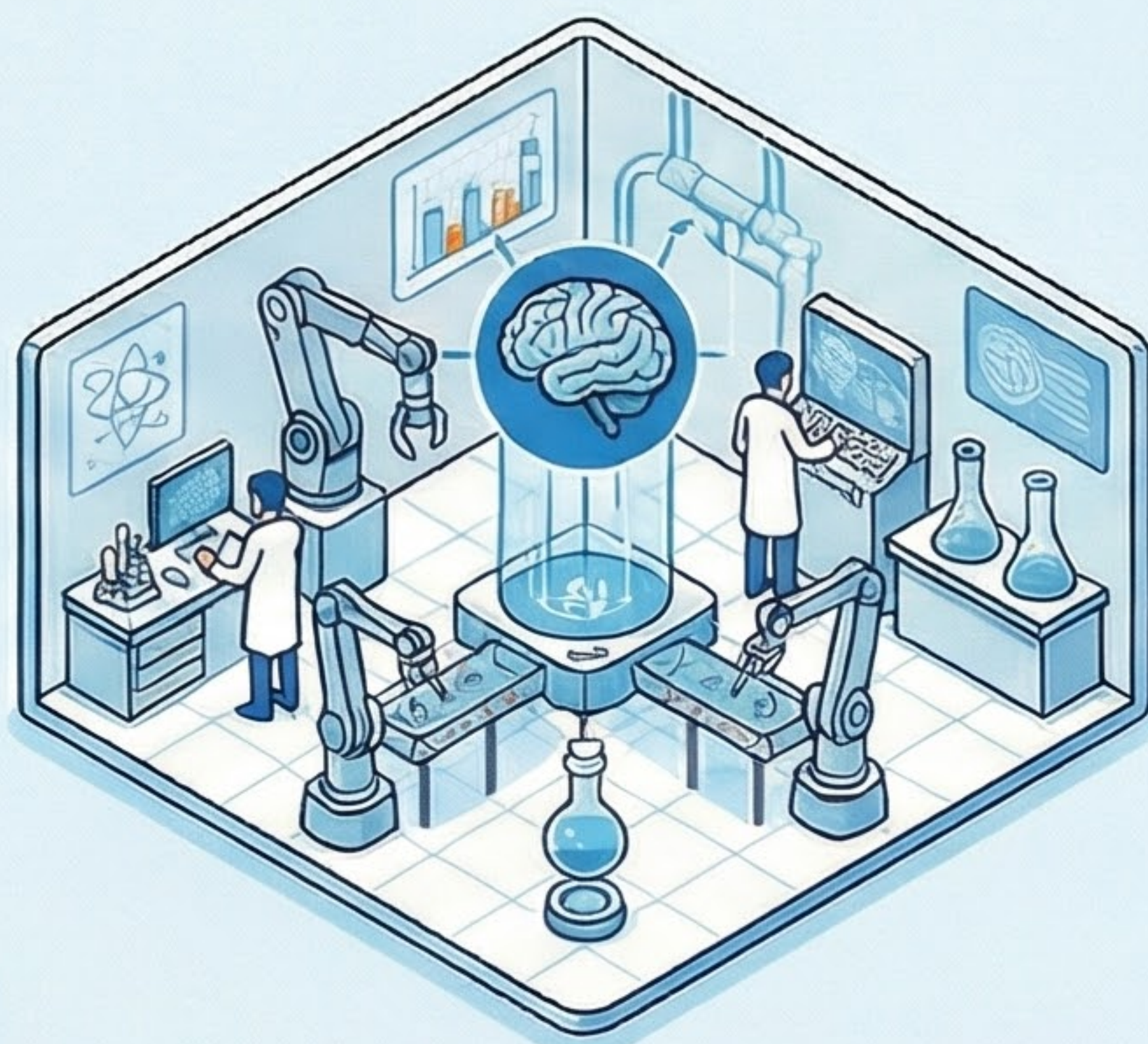
AIの次なるフロンティア：2025年、物理世界への進出

AIが単なるデジタルツールから、物理世界と深く統合された自律的エージェントへと移行する様子と、それに伴うインフラや地政学的な競争をハイライトする。

AI、スクリーンを飛び出す



ウェアラブルAIの日常化：
AIは駆動型のデバイスに搭載され、ユーザーの状況を常に理解するパートナーになる。



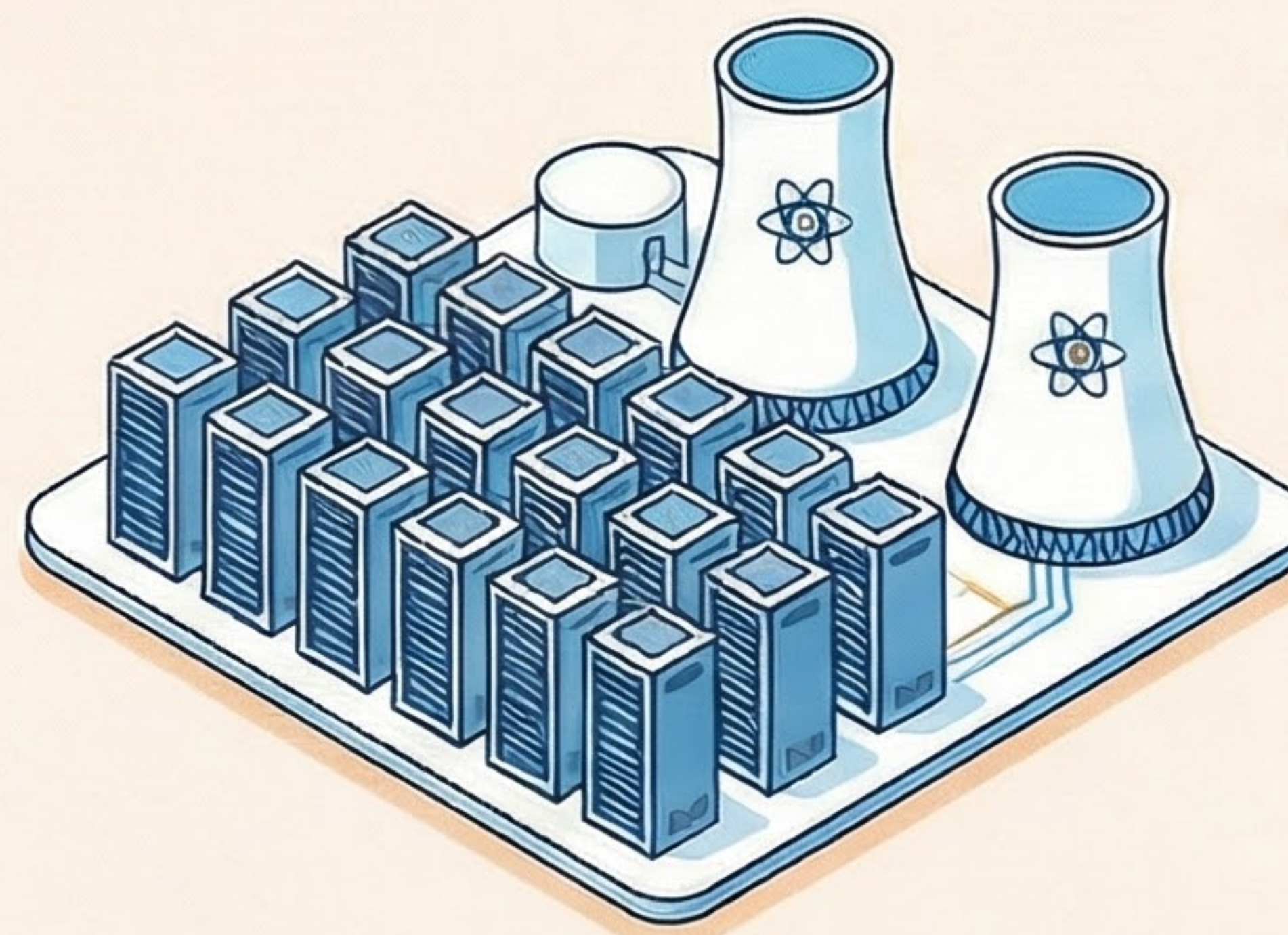
「AIサイエンティスト」の台頭：
AIが自律的に仮説生成から物理的な実験まで行い、科学的発見を自動化する。



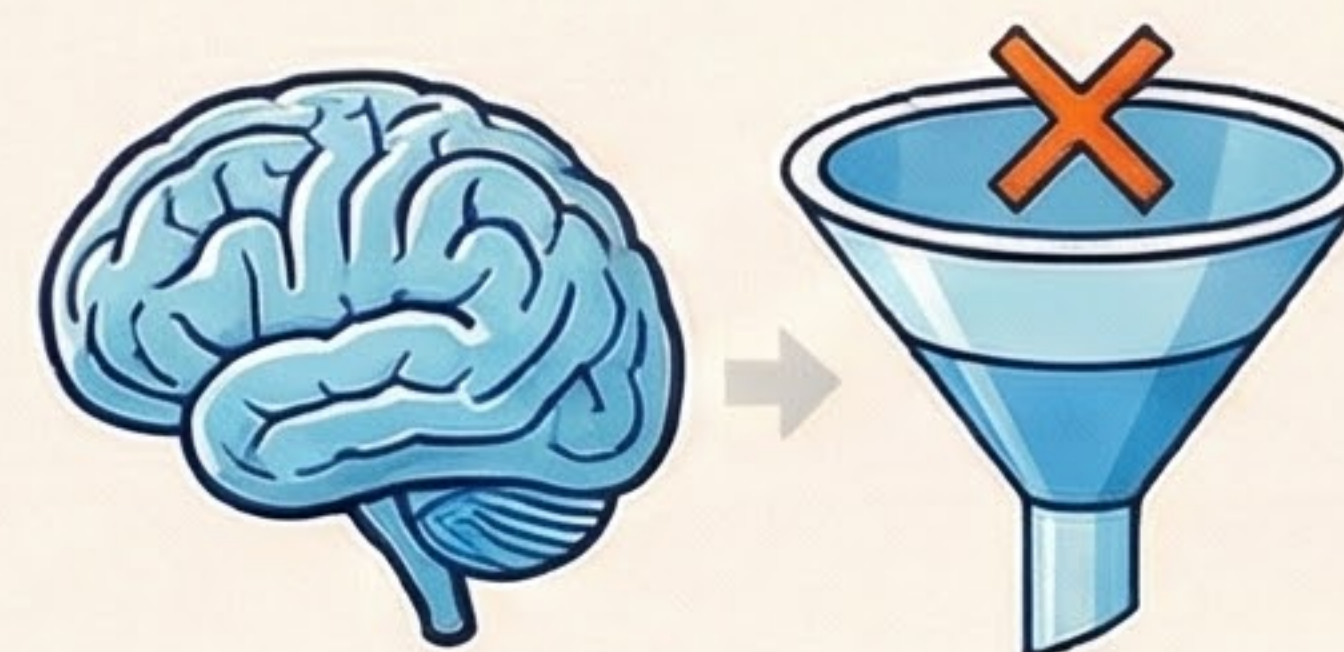
**業務を「自動操縦」する
エージェントAI：**

AIが人間の「副騎織士」から進化し、企業の基幹業務を自律的に実行し始める。

物理世界をめぐるAI覇権争い

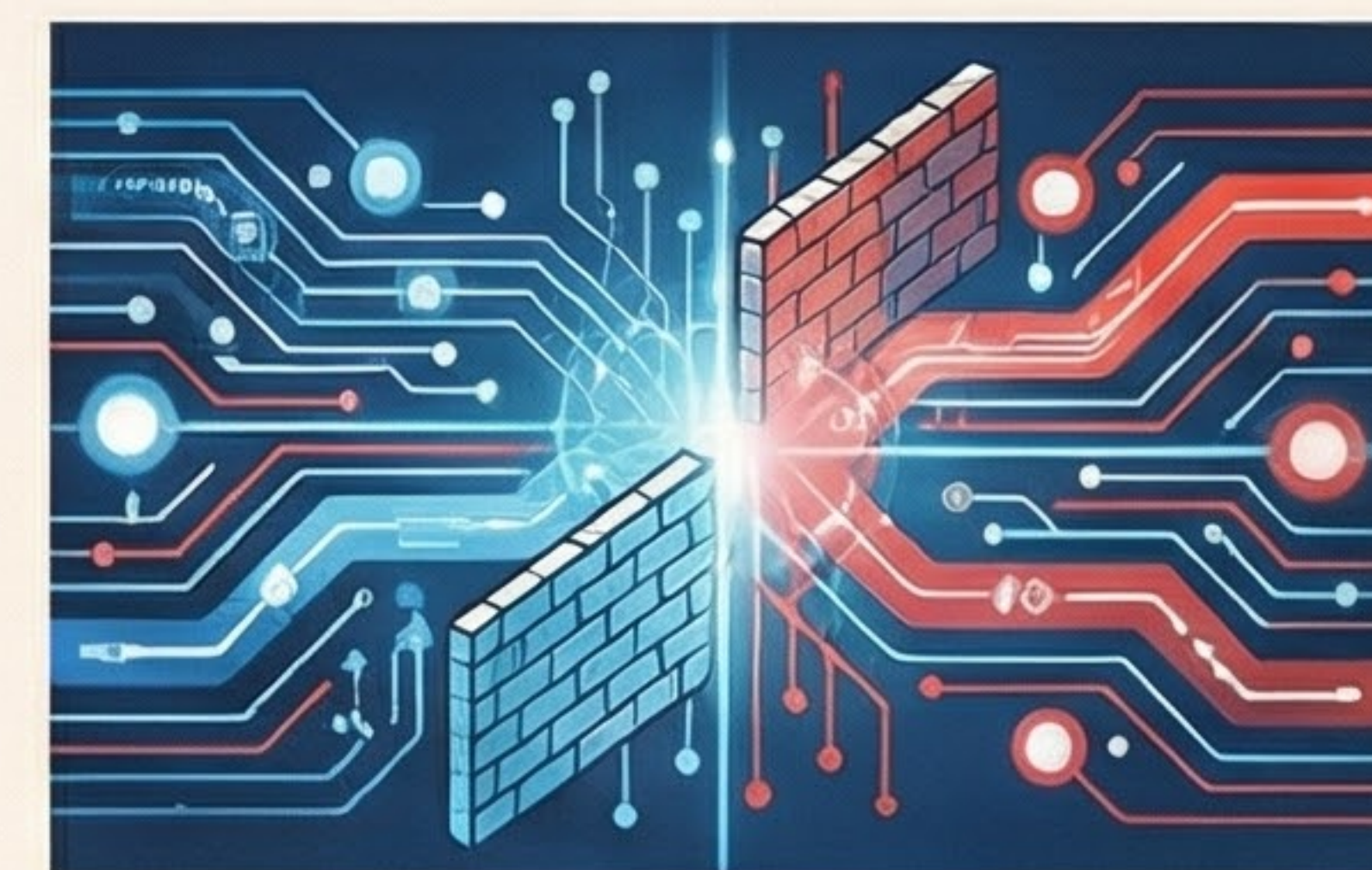


エネルギー危機と原子力の復活：
AIの膨大な電力需要を賄うため、大手テック企業は原子力発電に巨額の投資を行う。



**「スケーリング則」の終焉と
新たなアプローチ：**

「データを増やせば賢くなる」という法則が限界を迎え、より効率的な「推論」が重要になる。



米国規制下で進む中国AIの独自進化：
Huawei等の国産チップで「脳NVIDIA」を進め、オープン戦略で米国を追撃する。